

第2期「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況

(計画期間：2020年度～2022年度)

資料6

第2期「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」		成果指標	初期値	現状		目標値	2020年度 地方創生関連交付金事業
基本目標	施策			現状値	進捗状況		
基本目標 I しごと・雇用機会を創出し、 活力につながる人の流れをつくる		就業機会の多さに対する満足度 【施策6-5より】	48.2% (2018年度)	48.8% (2020年度)	A	50% (2022年度)	
		入込観光客数 【施策5-1より】	2,134万人 (2017年)	2,148万人 (2019年)	(A) ※	増加 (2022年)	
	(ア)福岡市グローバル 創業・雇用創出特区の推進と 新たな価値の創造	新設事業所数 【施策7-1より】	1,114事業所/年 (2016年)	1,114事業所/年 (2016年)	(A) ※	増加 (2021年)	①エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進 ②Society5.0を支えるAIエンジニア支援
		クリエイティブ関連産業事業所数 【施策7-3より】	2,504事業所 (2016年)	2,504事業所 (2016年)	(C) ※	2,900事業所 (2021年)	
	(イ)地域経済を支えている 産業の競争力強化	市内大学の民間企業などとの共同研究件数 【施策6-1より】	887件 (2017年度)	978件 (2019年度)	(A) ※	1,000件 (2022年度)	①エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進 ②Society5.0を支えるAIエンジニア支援
		博多港・福岡空港における貿易額 【施策8-3より】	4兆6,795億円 (2018年)	4兆3,654億円 (2020年)	A	増加 (2022年)	
	(ウ)新たな雇用につながる 企業等の誘致	成長分野・本社機能の進出企業数 【施策6-2より】	57社/年 うち外国企業等 14社/年 (2018年度)	50社/年 うち外国企業等 12社/年 (2020年度)	A	増加 うち外国企業等 15社/年 (2022年度)	③外国人材の受入・共生事業
		進出した企業による雇用者数 【施策6-2より】	1,334人/年 (2018年度)	665人/年 (2020年度)	C	3,000人/年 (2022年度)	
		在住外国人の住みやすさ評価 (福岡市は住みやすいと感じる在住外国人の割合) 【施策8-8より】	61.4% (2018年度)	61.4% (2018年度)	(B) ※	67% (2022年度)	
	(エ)観光・MICE振興による 交流促進	福岡市への外国人来訪者数 【施策5-6より】	309万人 (2018年)	32万人 (2020年)	C	増加 (2022年)	
		外航クルーズ客船の寄港回数 【施策5-6より】	264回 (2018年)	14回 (2020年)	C	増加 (2022年)	
		国際コンベンション開催件数 【施策5-4より】	296件 (2017年)	313件 (2019年)	(A) ※	増加 (2022年)	
		国内コンベンション誘致件数 【施策5-4より】	146件 (2018年度)	86件 (2020年度)	C	160件 (2022年度)	

※「進捗状況」は、第9次福岡市基本計画における成果指標の初期値及び目標値を基準に把握できている現状値の進捗状況を示したものであり、2020年(度)の数値が把握できていないものについては()付きの記載としている

第2期「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況

(計画期間：2020年度～2022年度)

第2期「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」		成果指標	初期値	現状		目標値	2020年度 地方創生関連交付金事業
基本目標	施策			現状値	進捗状況		
	(オ)活力につながる人材の還流・定着等	若者率の全国平均との差 (福岡市の人口に占める若者率の全国平均との乖離) 【施策7-5より】	+3.1ポイント (2015年度)	+3.1ポイント (2015年度)	(C) ※	+5.0ポイント (2020年度)	③外国人材の受入・共生事業
		外国語で簡単な日常会話ができると思う生徒の割合 【施策8-5より】	58.9% (2018年度)	68.8% (2020年度)	A	60% (2022年度)	
		就労目的の在留資格を持つ外国人の数 【施策8-5より】	5,500人 (2018年)	5,988人 (2020年)	A	増加 (2022年)	
	(カ)都市の活力を牽引する拠点やゲートウェイの機能強化	都心部の従業者数 【施策8-1より】	36万6千人 (2014年)	36万6千人 (2014年)	(B) ※	40万人 (2021年)	
		博多港国際海上コンテナ取扱個数 【施策8-4より】	95万TEU (2018年)	89万TEU (2020年) ※速報値	B	130万TEU (2022年)	
		外国航路船舶乗降人員 【施策8-4より】	197万人 (2018年)	12万人 (2020年) ※速報値	C	210万人 (2022年)	
		福岡空港乗降客数 【施策8-4より】	2,464万人 (2018年)	958万人 (2020年) ※速報値	C	増加 (2022年)	
	基本目標Ⅱ 働き方を見直し、安心して生み育てられる環境をつくる	子育て環境満足度 (福岡市が子育てしやすいまちだと感じる、高校生以下の子をもつ保護者の割合) 【施策1-7より】	72.0% (2018年度)	71.6% (2020年度)	A	増加 (2022年度)	
(ア)若者・子育て世代の経済的安定・経済的負担軽減		25歳から44歳までの女性の就業率 【施策6-5より】	74.2% (2017年)	74.2% (2017年)	(A) ※	75% (2022年)	
(イ)妊娠・出産・子育て等への切れ目ない支援		地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合 【施策2-3より】	38.8% (2018年度)	42.6% (2020年度)	B	65% (2022年度)	
(ウ)子ども・子育て支援の充実		保育所入所待機児童数 【施策1-7より】	40人 (2018年度)	5人 (2020年度)	B	0人 (2022年度)	
(エ)仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)		企業における女性管理職比率 【施策7-5より】	10.0% (2014年度)	11.3% (2019年度)	(B) ※	12% (2022年度)	
	男女の固定的な役割分担意識の解消度 (「男は仕事、女は家庭を守るべき」という固定概念を持たない市民の割合) 【施策1-2より】	男性63.4% 女性75.9% (2018年度)	男性70.6% 女性78.7% (2020年度)	A A	男性75% 女性80% (2022年度)		

※「進捗状況」は、第9次福岡市基本計画における成果指標の初期値及び目標値を基準に把握できている現状値の進捗状況を示したものであり、2020年(度)の数値が把握できていないものについては()付きの記載としている

第2期「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況

(計画期間：2020年度～2022年度)

第2期「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」		成果指標	初期値	現状		目標値	2020年度 地方創生関連交付金事業
基本目標	施策			現状値	進捗状況		
基本目標Ⅲ 超高齢社会に対応した持続可能な質の高い都市をつくる		健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) 【施策1-3より】	50.6% (2016年度)	48.4% (2019年度)	(B) ※	増加 (2022年度)	
	(ア)生涯元気に活躍できる社会づくり	スポーツ活動をする市民の割合 (スポーツを「する」活動を週1回以上行っている市民の割合) 【施策1-5より】	53.3% (2018年度)	54.9% (2020年度)	B	60% (2022年度)	④アクティブシニアの生涯現役さきかけ事業
		NPO・ボランティア活動などへの参加率 (過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合) 【施策2-4より】	14.5% (2018年度)	13.7% (2020年度)	B	24% (2022年度)	
	(イ)ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	ユニバーサルデザインの取組みへの評価 (ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合) 【施策1-1より】	32.4% (2018年度)	44.3% (2020年度)	B	65% (2022年度)	③外国人材の受入・共生事業
		高齢者の居住する住宅のうち一定のバリアフリー化が行われた割合 【施策3-3より】	37.5% (2013年)	40.3% (2018年)	(B) ※	80% (2022年)	
	(ウ)すべての人が安心して暮らせる社会環境づくり	地域活動への参加率 (地域活動に参加したことがある市民の割合) 【施策2-1より】	49.7% (2018年度)	45.8% (2020年度)	C	70% (2022年度)	
		公民館の利用率 (年に1～2回以上公民館を利用した市民の割合) 【施策2-2より】	23.6% (2018年度)	19.8% (2020年度)	C	50% (2022年度)	
		福祉の充実に対する満足度 【施策1-6より】	48.1% (2018年度)	53.0% (2020年度)	B	65% (2022年度)	
		市の施策によるソーシャルビジネス起業者数 【施策2-5より】	56人 (2018年度)	87人 (2020年度)	A	70人 (2022年度)	
	(エ)福岡型のコンパクトな都市づくりと地域活性化	公共交通の便利さへの評価 (鉄道やバスなどの公共交通が便利と感じる市民の割合) 【施策4-5より】	79.5% (2018年度)	81.7% (2020年度)	A	現状維持 (80%程度を維持) (2022年度)	
		福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合 【施策6-4より】	73.9% (2018年度)	73.7% (2020年度)	B	85% (2022年度)	

※「進捗状況」は、第9次福岡市基本計画における成果指標の初期値及び目標値を基準に把握できている現状値の進捗状況を示したものであり、2020年(度)の数値が把握できていないものについては()付きの記載としている